

光市立岩田小学校で4年生が森林体験学習を実施！

令和5年11月22日（水）、光市立岩田小学校の校庭及び図工室で、4年生児童11名を対象に、竹の伐採及び竹の花器づくり等の「森林体験学習」を実施しました。

この取組は、次代の担い手となる子供たちに、ふるさとの森林の大切さやそれを支える林業の役割などへの理解を深めてもらうことを目的として、光市林業研究会（会長：森戸芳史、会員23名）が実施したものです。

体験の1つ目は、林研会員による竹の伐採の見学及び玉切りです。伐採前に児童らは、竹の長さを予想しました。予想はバラバラでしたが、ピッタリの児童もいました。

2つ目は、森林観察です。葉っぱの匂いを嗅いだり、スギの年輪を数えたり、森林の腐葉土や裸地に水を流して浸み込み方を比較しました。児童らは、葉っぱに匂いがあるということに興味津々でした。

3つ目は、竹の花器づくりです。児童らは、林研会員からノコギリやナタの安全な使い方を教わった後、ノコギリを使って、先ほど伐採した竹をお好みの長さに裁断しました。さらに、ナタを使って、取っ手を作り、花器が完成しました。児童らは、ナタの使い方に苦労していましたが、出来上がった花器を満足そうに眺めていました。



森林観察



竹の花器完成